

|   |         |     |
|---|---------|-----|
| 科目名称：   | 会計実務演習Ⅲ |     |
| 担当者名：   | 眞田浩一    |     |
| 区分  | 授業形態    | 単位数 |
| 専門教育科目  | 演習      | 2   |
| 授業の目的・テーマ   |         |     |
| 日本商工会議所の簿記検定試験3級合格レベルの理解を得た学生のみなさんに次なるステップとして、日本商工会議所の簿記検定試験2級(商業簿記)合格レベルの授業を行います。3級と比較するとボリュームは多く、近年は検定試験の難易度が高くなっていますので理解力を要しますが、検定合格を目標に授業を進めます。また、簿記検定のみならず経理実務より経験した経理業界の現状等も踏まえ将来各分野に広く応用できるような内容にしたいと考えています。 |         |     |
| 授業の達成目標・到達目標  |         |     |
| 日本商工会議所の簿記検定試験2級商業簿記合格レベルを目標とします。講義は履修学生の理解度を確認しながら進めま  |         |     |

|          |   |      |
|----------|---|------|
| ビジネス実務学科 | ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）   | 重点項目 |
| DP(1)    | 自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。              |      |
| DP(2)    | 地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。             |      |
| DP(3)    | ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。 | ○    |

| 評価方法/ディプロマポリシー | 定期試験 | クイズ<br>小テスト | 提出課題<br>(レポート含む) | その他 | 合計  |
|----------------|------|-------------|------------------|-----|-----|
| ビジネスDP(1)      |      |             |                  |     | 0   |
| ビジネスDP(2)      |      |             |                  |     | 0   |
| ビジネスDP(3)      | 60   | 20          | 20               |     | 100 |
|                |      |             |                  |     | 100 |

|              |                          |             |
|--------------|--------------------------|-------------|
| 実務経験のある教員の担当 | 担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載） |             |
| あり           | 《内容1》 税理士                | 《経験年数1》 23年 |
|              | 《内容2》                    | 《経験年数2》     |
|              | 《内容3》                    | 《経験年数3》     |
|              | 《内容4》                    | 《経験年数4》     |
| 備考           |                          |             |
|              |                          |             |

| 到達目標ルーブリック                   | すばらしい                       | とてもよい                       | よい                         | 要努力                           |
|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-------------------------------|
| 仕訳（日商簿記2級試験範囲）               | 仕訳を、応用まで全て正確に解答できる。         | 仕訳を、応用までほぼ正確に解答できる。         | 仕訳を、基本はほぼ正確に解答できる。         | 仕訳を、基本もほとんど正確に解答できない。         |
| 精算表（日商簿記2級試験範囲）              | 精算表問題を、応用的な内容まで全て正確に解答できる。  | 精算表問題を、応用的な内容までほぼ正確に解答できる。  | 精算表問題を、基本的な内容はほぼ正確に解答できる。  | 精算表問題を、基本的な内容もほとんど正確に解答できない。  |
| 財務諸表（貸借対照表、損益計算書 日商簿記2級試験範囲） | 財務諸表問題を、応用的な内容まで全て正確に解答できる。 | 財務諸表問題を、応用的な内容までほぼ正確に解答できる。 | 財務諸表問題を、基本的な内容はほぼ正確に解答できる。 | 財務諸表問題を、基本的な内容もほとんど正確に解答できない。 |
|                              |                             |                             |                            |                               |

| 授業の内容・計画                                      | 事前事後学修の内容                        | 事前事後学修時間（分） |
|---|----------------------------------|-------------|
| 第1回 基礎1（簿記一巡の手続き）                             | 事後学修 トレーニング<br>問題0-1             | 60分         |
| 第2回 基礎2（損益計算書と貸借対照表）（授業内でディスカッションをしながら演習を進める） | 事後学修 トレーニング<br>問題1-1～1-3         | 60分         |
| 第3回 商品売買1（各種取引方法）                             | 事後学修 トレーニング<br>問題2-1～2-3         | 60分         |
| 第4回 商品売買2（期末評価）（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）      | 事後学修 トレーニング<br>問題2-4～2-6         | 60分         |
| 第5回 現金及び預金1（現金、当座預金調整）                        | 事後学修 トレーニング<br>問題3-1～3-3         | 60分         |
| 第6回 現金及び預金2（銀行勘定調整表）（授業内でディスカッションをしながら演習を進める） | 事後学修 トレーニング<br>問題3-4～3-5         | 60分         |
| 第7回 債権債務                                      | 事後学修 トレーニング<br>問題4-1～4-9         | 90分         |
| 第8回 有価証券1（株式）                                 | 事後学修 トレーニング<br>問題5-1～5-6         | 60分         |
| 第9回 有価証券2（公社債、期末評価）                           | 事後学修 トレーニング<br>問題5-7～5-11        | 60分         |
| 第10回 有形固定資産Ⅰ（購入・売却・減価償却）                      | 事後学修 トレーニング<br>問題6-1～6-4         | 60分         |
| 第11回 有形固定資産Ⅱ-1（利息・建設仮勘定・資本的支出・除却・廃棄）          | 事後学修 トレーニング<br>問題7-1～7-4         | 60分         |
| 第12回 有形固定資産Ⅱ-2（買換・保険金・圧縮記帳）                   | 事後学修 トレーニング<br>問題7-5～7-8         | 60分         |
| 第13回 有形固定資産Ⅱ-3（総合問題）（授業内でディスカッションをしながら演習を進める） | 事後学修 トレーニング<br>問題7-9、過去問         | 90分         |
| 第14回 過去問題集（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）           | 過去問題集 仕訳・総合問題                    | 90分         |
| 第15回 リース取引1                                   | 事後学修 トレーニング<br>問題8-1～8-5         | 60分         |
| 第16回 リース取引1、無形固定資産と研究開発費                      | 事後学修 トレーニング<br>問題8-6～8-7、9-1～9-3 | 60分         |
| 第17回 過去問題集（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）           | 過去問題集 仕訳・総合問題                    | 60分         |
| 第18回 引当金                                      | 事後学修 トレーニング<br>問題10-1～10-12      | 90分         |
| 第19回 外貨換算会計                                   | 事後学修 トレーニング<br>問題11-1～11-6       | 60分         |
| 第20回 本試験問題集（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）          | 本試験問題集 仕訳・総合問題                   | 60分         |

| 授業の内容・計画  | 事前事後学修の内容                            | 事前事後学修時間(分) |
|---|--------------------------------------|-------------|
| 第21回 税金・株式の発行   | 事後学修 トレーニング<br>問題12-1～12-3、13-1～13-2 | 60分         |
| 第22回 株式の発行・剰余金の配当と処分  | 事後学修 トレーニング<br>問題13-3～13-4、14-1～14-4 | 60分         |
| 第23回 剰余金の配当と処分・決算手続1(精算表)   | 事後学修 トレーニング<br>問題14-5、問題15-1         | 90分         |
| 第24回 本試験問題集(授業内でディスカッションをしながら演習を進める)  | 事後学習 本試験問題集 仕訳                       | 60分         |
| 第25回 決算手続2(精算表)   | 事後学修 トレーニング<br>問題15-2～15-4           | 90分         |
| 第26回 過去問題集(授業内でディスカッションをしながら演習を進める)   | 事後学習 過去問題集 精算表                       | 60分         |
| 第27回 決算手続3(財務諸表)  | 事後学修 トレーニング<br>問題15-7～15-8           | 120分        |
| 第28回 過去問題集(授業内でディスカッションをしながら演習を進める)   | 事後学習 過去問題集 財務諸表                      | 60分         |
| 第29回 決算手続4(財務諸表)  | 事後学修 トレーニング<br>問題15-9～15-10          | 90分         |
| 第30回 過去問題集(授業内でディスカッションをしながら演習を進める)   | 事後学習 過去問題集 財務諸表                      | 60分         |
| <p>事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。</p> <p>また、事前事後学修としては当日の学修範囲について問題集による事後学修が必要であるが、当日だけの復習ではなく毎日30～60分程度の復習を続けることが簿記を理解するためには必要である。</p> |                                      |             |
| 成績評価の方法・基準  |                                      |             |
| <p>定期試験は、60%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。</p> <p>授業中の提出物 20%・小テスト 20%</p>  |                                      |             |
| 課題に対するフィードバック   |                                      |             |
| 提出物・小テストは評価し返却する。定期試験は成績確定後、希望者には事務局を通して返却する。   |                                      |             |
| 教科書・参考書   |                                      |             |
| よくわかる簿記シリーズ 合格テキスト 日商簿記2級商業簿記   |                                      |             |
| 備考  |                                      |             |
|   |                                      |             |